

## 実践記録

学校/学年	小学校 / 5年	
教科等：単元名	総合的な学習：学校自慢	
キーワード	肖像権	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	b3: 情報に関する自分や他社の権利を尊重する
	中目標項目番号 中目標項目内容	b3-1: 情報にも自他の権利があることを知り、尊重する
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	意識して肖像権を守ろうとする態度や実践力を育てる。	
使用教材	教材名	
	製作者	
	入手先(URL等)	

### 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	学校自慢で児童が写した写真をプロジェクターで投影し、学習意欲を高めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面に集中させる。</li> <li>どんな風景を撮った写真なのか話し合う。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>肖像権というものがあることを知る。</li> <li>肖像権に関する法律やホームページに関する市のルールを読む。</li> <li>その観点でもう一度、写真を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかったことを出し合いながら、肖像権について大まかにまとめる。</li> <li>肖像権を考えた場合の問題点を見つけながら写真を見る。</li> </ul>
おわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が写った写真を使われたくないとき、自分が写されたくないときには、断ることができることを伝える。</li> </ul>	その後、カメラを持たせ、肖像権を意識させながら実際に写真を撮らせてみる。

### 授業の成果

- 今まで安易にカメラを向けていたが、人物が映り込むときには、個人がわからない角度から撮ったり、タイミングを見て撮ったりすることができるようになった

### 指導のポイント・留意点

- 極端に肖像権を気にすることがないよう声かけなどを大切にする指導をする。